

共創研究グループ結成支援事業

後援：CN コアリション推進会議・イノベーション WG

「海の再生可能エネルギー事業化支援グループ」キックオフ研究集会

温室効果ガスを排出しない風力や波力、太陽光などの再生可能エネルギーの普及は急務であるが、日本は地理的に台風災害の影響を強く受けるため、設計外力の大きさと頻度の評価が中長期的リスク評価において重要となる。また波力エネルギーを効率的に利用するためには常時の低波浪からエネルギーを獲得・蓄積する技術も必要である。本研究グループでは日本に最適な海の再生可能エネルギーの設計支援環境を整備し、長期的な発電システムの被災リスク評価、リアルタイム被災予見システムの構築を目指し、それらを活用して海の再エネの事業化をサポートする組織の構築を目的としている。

[日 時] 2025 年 8 月 26 日 14 時～17 時 30 分

[場 所] 大阪公立大学工学部 A 棟 A107 教室 （事前登録者への Web 配信あり）

[講演内容]

14:00～14:15 「都市シンクタンク事業(共創研究グループ結成支援事業):海の再生可能エネルギー事業化支援グループ構想について と参加者の自己紹介」

大阪公立大学大学院工学研究科 都市系専攻 准教授 中條壮大

14:20～14:40 「洋上風力発電施設の外力応答特性とその評価」

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋利用研究領域
海洋利用研究グループ グループ長 加島寛章

14:45～15:05 「波力による蓄圧と発電」

株式会社ダ・ベンチ 代表取締役 東 謙治

15:10～15:30 「防波堤を利用した屈曲布型波力発電システム」

大阪公立大学大学院工学研究科 機械工学専攻 教授 脇本辰郎

15:35～15:55 「水車型波力発電システムの開発」

大阪公立大学大学院工学研究科 都市系専攻 博士前期課程 小谷 渉

16:00～16:20 「OpenFOAM を用いた波動場の解析手法と工学的応用について」

大阪公立大学大学院工学研究科 都市系専攻 博士後期課程 梅田尋慈

16:25～16:45 「簡易波浪予測モデルを用いた低頻度高波浪災害の確率評価」

大阪公立大学大学院工学研究科 都市系専攻 博士前期課程 川上千昌

16:50～17:10 「確率台風モデルを用いた低頻度台風リスクの評価」

大阪公立大学大学院工学研究科 都市系専攻 准教授 中條壮大

17:15～17:30 総合討論「次回に向けた議論:海の再生可能エネルギー事業化における課題とステークホルダーについて」

司会者：中條壮大

お時間が許せば、懇親会（地下鉄あびこ周辺）にもご参加ください

参加登録はこちら（Zoom 接続先は登録後に返信で連絡があります）⇒

